

定期的に乳がん検診を受診しましょう!!

乳がんは特に 40 代後半から 50 代前半の女性に多く、日本人女性の 11 人に 1 人が患うといわれています。しかし、早期発見、早期診断、早期治療をすれば、9 割以上の方が治癒しています。

この早期発見のためには乳がん検診を定期的に受診することが必要です。

水戸市では 30 歳以上の女性を対象に乳がん検診を実施しています。検査方法はマンモグラフィまたは超音波検査になります。

水戸市乳がん検診の受診間隔は下記の通りです。

30 歳～40 歳：毎年超音波検査を受診しましょう。

41 歳～66 歳：奇数年齢はマンモグラフィを偶数年齢は超音波検査を受診しましょう。

67 歳以上：2 年に 1 度マンモグラフィを受診しましょう。



出典：東北大学病院データ (2011-2014年)

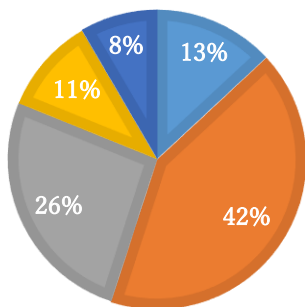
水戸市で実施した乳がん検診による乳がん発見の状況について

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
受診者数	5,988 人	5,744 人	5,750 人	3,926 人	5,191 人
要精密検査者数	258 人	210 人	206 人	142 人	191 人
要精検率	4.3%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%
精検受診者数	222 人	194 人	188 人	127 人	184 人
精検受診率	86.1%	92.4%	91.3%	89.4%	96.3%
精密検査の結果が乳がんだった者	9 人	13 人	19 人	10 人	19 人
がん発見率	0.15%	0.23%	0.33%	0.25%	0.37%

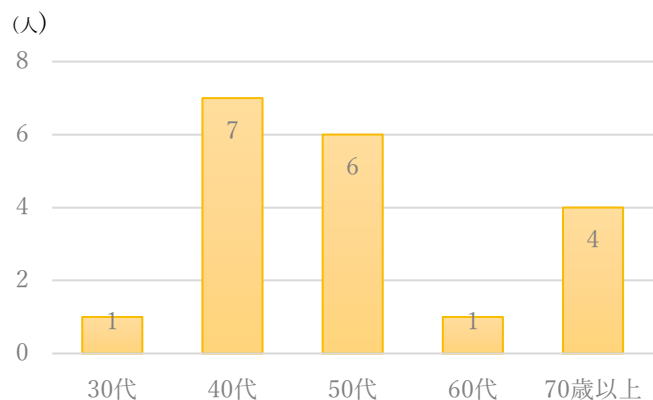
乳がん検診を受けた方の約 4% は精密検査が必要と判定されています。精密検査の受診率が高いほどがん発見率も高くなっています。精密検査を受けていない方は、検診で早期発見が可能であったはずのがんを発見できずにいるということです。早期の乳がんを発見するために精密検査は必ず受けることをお勧めします。

R 3 年度要精密検査者の割合

■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70歳以上



R3年度検診で発見された乳がんの人数



また、精密検査が必要だという結果の方の年代別では、40 代・50 代が 7 割近くを占めており、がんが発見された人数も他の年代に比べて多くなっています。この年代の検診は特に重要になってきます。